

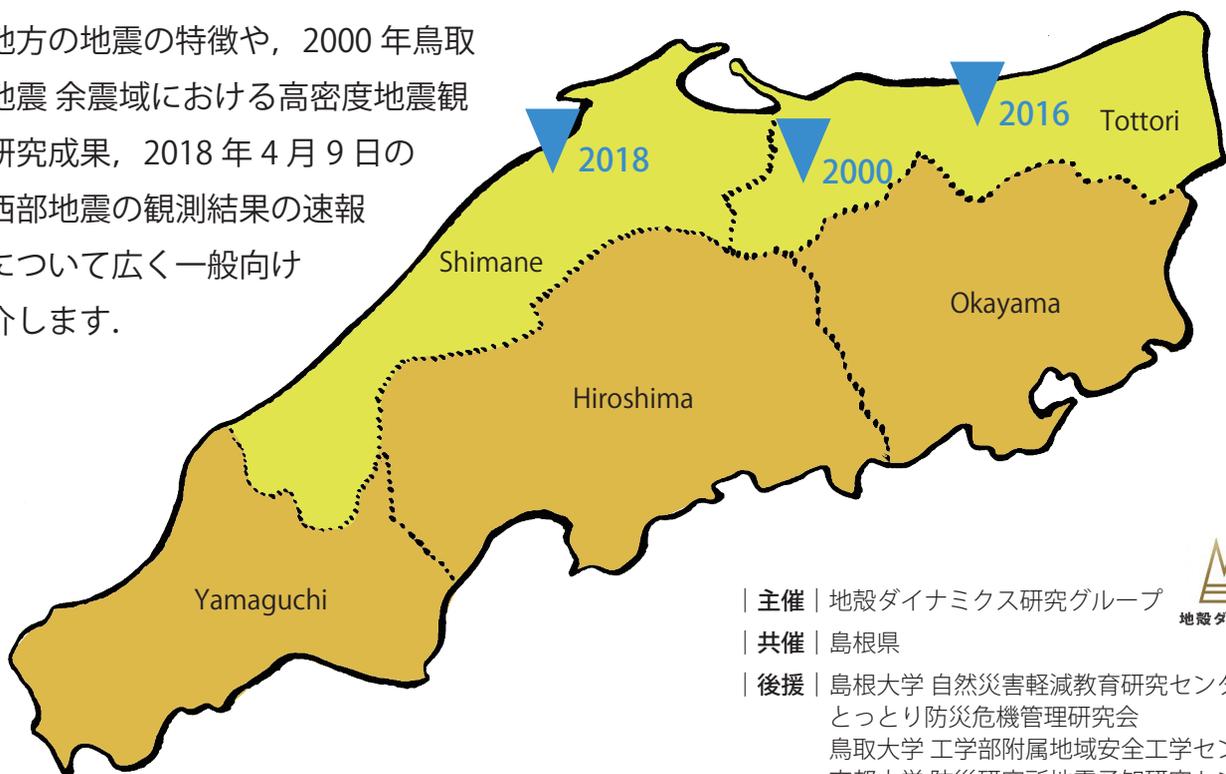
2018・10・13 (日)

中国地方の ~山陰地震帯の特徴~ 地震と断層

会場：くまびろかみんセンター
14:00~17:00 (受付 13:30~)

入場無料 / 申込不要

山陰地方の地震の特徴や、2000年鳥取西部地震余震域における高密度地震観測の研究成果、2018年4月9日の島根西部地震の観測結果の速報などについて広く一般向けに紹介します。



- | 主催 | 地殻ダイナミクス研究グループ  地殻ダイナミクス
- | 共催 | 島根県
- | 後援 | 島根大学 自然災害軽減教育研究センター
とっとり防災危機管理研究会
鳥取大学 工学部附属地域安全工学センター
京都大学 防災研究所地震予知研究センター

中国地方の ～山陰地震帯の特徴～ 地震と断層

｜この講演会の趣旨｜

2016年の鳥取県中部地震、2000年の鳥取県西部地震、これら以外にも日本列島では数多くの地震が発生しています。地震・火山活動の予測が重要な課題の一つである一方、これらの発生の仕組みがよくわかっていないという現状があります。

昨年度、地域の方々の暖かいご支援・ご協力を頂き、2000年鳥取西部地震余震域にて1000点の観測点をおよそ1Kmおきに設置し、1年間連続でデータを取り続けることができました。

また、今年4月の島根県西部地震においても臨時観測を行うことができました。これらの成果も踏まえて、内陸地震や内陸の変動に関して、これまで未解決だった謎を明らかにすることが本計画の目指すところです。

この講演会では、山陰地方の地震帯における地震活動や地震防災への理解を深めるとともに、最新の研究・観測結果について紹介します。

講演者と内容

▼ **14:00 - 14:25** 西村 卓也 _ 京都大学
「GNSS 観測から明らかになった山陰ひずみ集中帯」

▼ **14:25 - 14:50** 飯尾 能久 _ 京都大学
「山陰地震帯で発生した大地震」

▼ **14:50 - 15:15** 香川 敬生 _ 鳥取大学
「山陰地域で近年発生した地震の地震動特性」

▼ (休憩)

▼ **15:25 - 15:50** 松本 聡 _ 九州大学
「0.1 満点地震観測で見えてきた、地殻の活動」

▼ **15:50 - 16:15** 加藤 愛太郎 _ 東京大学
「地震観測と地質調査をつなぐ新しい架け橋」

▼ **16:15 - 16:40** 向吉 秀樹 _ 島根大学
「地質調査から見えてきた山陰地方に発達する断層の特徴」



｜ 駐車場のご案内 ｜

有料駐車場：3 時間まで無料
※～5 時間：1 時間ごとに ¥100
※以後：30 分ごとに ¥100

ご利用できる時間	駐車台数
入庫：8 時～22 時	第 1：268 台
出庫：随時	第 2：173 台

お問合せ先

島根大学 総合理工学部 地球科学科
向吉 秀樹 TEL 0852-32-6462